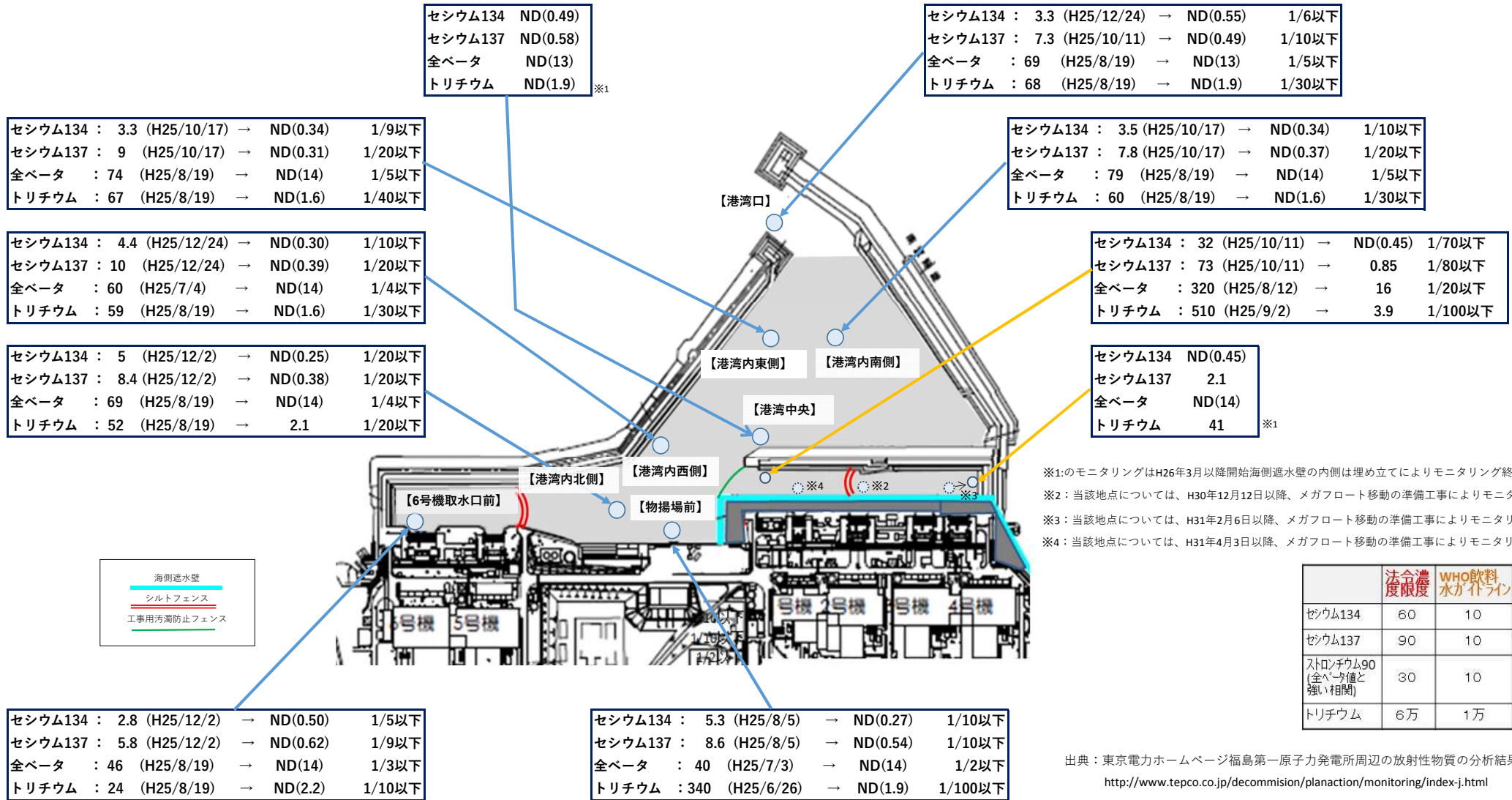


港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(12/14-12/21採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

令和2年12月22日までの東電データまとめ



出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 12/14 - 12/21採取）

令和2年12月22日までの東電データまとめ

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.75)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.69)
全ベータ	: ND (H25) → 16
トリチウム	: ND (H25) → 0.98

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.69)	
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18) → ND(0.65)	1/2以下
全ベータ	: ND (H25) → ND(13)	
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18) → ND(0.79)	1/8以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.80)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.69)
全ベータ	: ND (H25) → ND(13)
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.79)

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.67)	
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.86)	
全ベータ	: ND (H25) → 13	
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18) → 1.1	1/4以下

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21) → ND(0.74)	1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17) → ND(0.69)	1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23) → 12	
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26) → 1.3	1/6以下

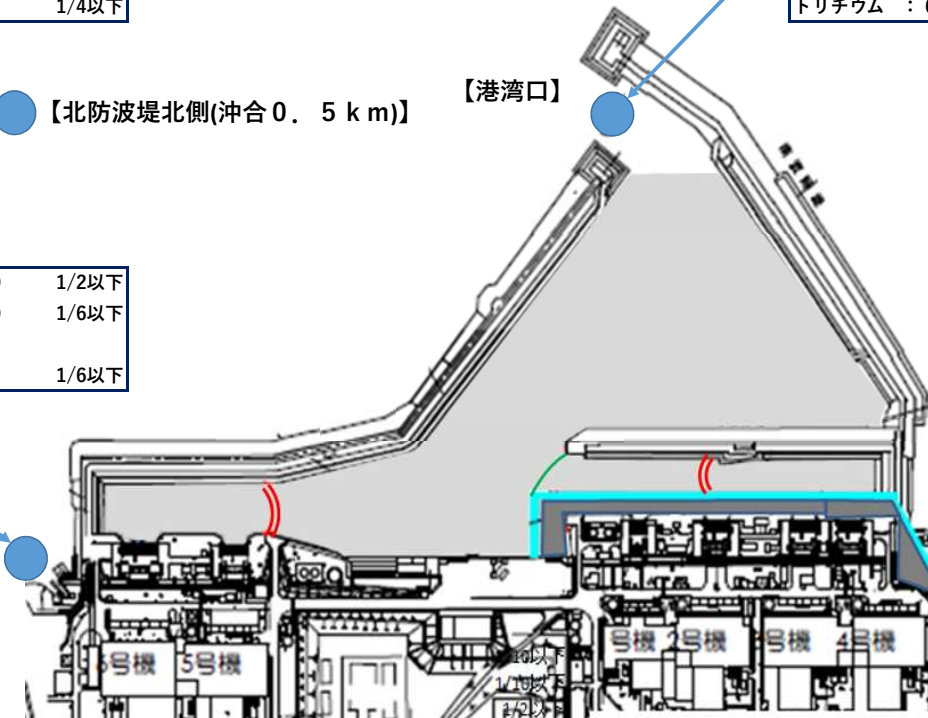
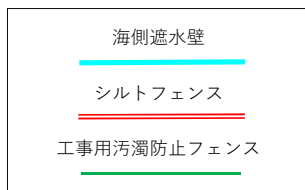
【港湾口】

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.55)	1/6以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11) → ND(0.49)	1/10以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19) → ND(1.9)	1/30以下

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.64)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.68)
全ベータ	: ND (H25) → 13
トリチウム	: ND (H25) → 0.91

【5,6号機放水口北側】



セシウム134	: ND (H25) → ND(0.55)	
セシウム137	: 3 (H25/7/15) → ND(0.60)	1/5以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23) → 16	
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25) → ND(0.86)	1/2以下

【南放水口付近】

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

注：H28年台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側約330mの地点で採取。さらに、H29.1.27から同放水口から南側約280m地点で、H30.3.23からは約320m地点で採取。